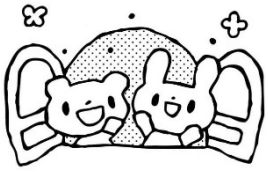
えんだより

キラキラ 5月



2020年５月1日
社会福祉法人尚徳福祉会
保土ケ谷保育園

新入園、進級から約一週間で「緊急事態宣言が」出され、日常生活が大きく変わりました。登園自粛にご協力をいただきありがとうございます。

たった一週間ではありましたが、子どもたちは保育園や保育者のことをその年齢なりに理解し、「保育園は安心できる場所」と少しずつ認識しはじめてくれたように思います。初めての環境、知らない大人の中で不安な様子だった子どもたちも、泣かずに給食を食べたり、笑顔を見せてくれたりするようになりました。保護者の方との「愛着関係」がしっかりできていたからこそ、子どもは不安な気持ちになります。保育園の保育者とも愛着関係をしっかり築けるよう、愛情たっぷりで保育をしていきたいと思います。
この「愛着関係」は子どもの「土台」となります。どんなに良い種をまいても、土が良くなければ、強い木は育ちません。この「土台」をしっかり作り、これから様々な経験を積むことで、たくさんの栄養を蓄え、立派な樹木へと成長していきます。

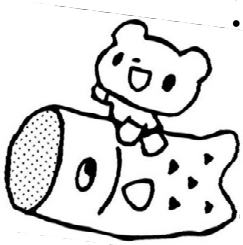
一緒に公園で遊んでいるとき泣いているお友だちを見て、保育園のお兄さんお姉さんが優しく声を掛けてくれ、泣き止む姿が見られたり、お散歩に行く際に手を引いてもらい、安心して園外に出ることができたりと、保育園ならではの異年齢の関わりも自然に行っています。
小さい子を思いやる気持ちや、お兄さんお姉さんにあこがれる気持ちも、子どもたちの健やかな成長にとって大きな力になっていきます。

保育園で様々な経験を生かして、大きく大きく成長していけるよう、職員一同力を合わせて頑張っていきたいと思います。園長　　大日方　直美

＜保育園に通いだすと風邪をひきやすくなる＞

同じ年頃の子どもたちの集団なので、かかりやすくなります。とくに初めて通いだす 0 歳児～2 歳児は、鼻水、発熱などを頻繁に起こします。
中耳炎を繰り返す子、鼻水がしょっちゅう出る子、熱を出しやすい子・・・こういう現象は「保育園症候群」と呼ばれていますが、同年代の子どもたちの中でうつし合いをしているので、ある程度仕方のないことです。2 歳児を過ぎると繰り返さなくなりますので、安心してください。

吉村小児科医院長
日本小児科医会常任理事
内海　裕美先生



今月の予定

13 日（水）避難訓練
15 日（金）お話し会（幼児）
英語
23 日（土）クラス懇談会
⇒延期（日程は未定です）
27 日（水）幼児集会
29 日（金）英語
※英語・お話し会・幼児集会は未定です。